22　将来の自分を考える［実践］

　将来のことを考えていますか。どんな仕事に就いて、どんな生活をしようとしていますか。もし、まだはっきりしていないなら、真剣に考えてみてください。前章で見つけた自分の特徴に適している職業はどんなものだろうかと。

　希望する職業があるなら、その職業に関して自分はどれぐらい知っているかを、書き出してみてください。案外知らないことがあるものです。インターネットで、あるいは、図書館の書籍を利用して調べてみましょう。

　その上で、自分がなぜその仕事を希望するのかを考えてみてください。単なる憧れではなく、その仕事をすることで、どういうことを実現したいのかを考えましょう。

　そして、その仕事に就くにはどういう方法がよいのか。どういうことを勉強しておくべきか、どういう心構えが大切なのかも、はっきりさせておきましょう。

志望動機の内容

　就職する場合でも進学する場合でも、必ずと言ってよいほど志望動機を尋ねられる。そこで、自分の進路に合わせた志望動機を用意しておくとよい。その内容として次のことを明確にしておこう。

①志望の理由

　・将来、どのような夢をもっているか。

　・なぜ、その志望先を選んだのか。

②志望先の情報

　・志望先はどういう点ですぐれているか。

　・志望先のどういう点が、自分にとって意義（メリットや価値など）があるのか。

③志望先でやろうと思うこと

　・志望先に入れたら、自分はどういうことで活躍したいのか。

④自分自身と仕事（研究分野）の相性

　・自分の長所はどういう点にあるか。

　・自分の性格や経験が、志望する仕事（研究分野）や志望先の考え方などと、いかにマッチしているか。

レッスン１　自分が就きたい職業、働きたい業界を書きなさい。一つに決められないときは、いくつかの候補を書き出してみよう。

|  |
| --- |
|  |

レッスン２　書き出した職業を希望する理由を考えて箇条書きで書き出してみよう。レッスン１で複数書き出した人は、理由の最も明確なものについて書き出しなさい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |

レッスン３　その仕事に就くためにはどうすればよいか。あるいは、どういうこと（資格や性格）が必要とされるかを考えなさい。わからないときは調べて書き出してみよう。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |

レッスン４　希望する職業に就くために、より適した進路（高校卒業後すぐに就職するか、進学するか）を考えなさい。その結果に応じて、就職希望先または進学希望先に対する志望動機の内容を、上段のワク部分を参考にして作りなさい。

①志望の理由

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |

②志望先の情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |

③志望先でやろうと思うこと

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |

④自分自身と仕事（研究分野）の相性

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |

【解答】

レッスン１（例）

食品メーカー・保育士

レッスン２（例）

・「食」に関心があるから。

・「食」は重要なものだと思うから。

・より多くの人に、安全な食品を知ってもらって食べてもらいたいから。

・人々にとって安全な食品が重要であり、その仕事にかかわることで、社会に貢献することができるから。

レッスン３（例）

・企業で働く人間として、当然の常識を身につける。

・他人とのコミュニケーションをとるときに必要な話し方、文章の書き方の力を磨く。

・食品業界の現状や今後の動きに関する情報をインターネットなどで調べる。

・「食」の安全性に関する常識を調べて知っておく。（面接などで質問されても的確に答えられるように。）

レッスン４（例）

①志望の理由

　「食」に関心があり、食の大事さ、食の安全性を人々に伝えられる仕事をしたい。

②志望先の情報

　「食の安全性」が問題になったときがあった。その事件のとき、いち早く情報公開をして製品の安全性を訴えた。それによって、消費者の信頼を得たという評判が定着している。

③志望先でやろうと思うこと

　製品の安全性がどれほど大事であるかを人々に知ってもらい、買ってもらう仕事にかかわりたい。それによって、人々が楽しい食生活を大事にするような社会作りに貢献したい。

④自分自身と仕事（研究分野）の相性

　食品の安全性だけでなく味の特色についても勉強してきたので、自信をもってお客様に製品を勧めることができる。また、バレーボール部で培った体力と諦めない気持ちがあるので適している。